

平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会社名 株 式 会 社 ネ ク ソ ン
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 オーウェン・マホニー
 (コード番号：3659 東証一部)
 問合せ先 管 理 本 部 長 阿 部 康 二
 電話番号 03-3523-7910

剰余金の配当（中間配当）の見送り、
 配当予想の修正及び配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、平成29年6月30日を基準日とする剰余金の配当に関してこれを行わないこと、平成29年12月期の期末配当予想を修正すること及び配当方針を変更することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定内容	直近の配当予想 (平成29年2月10日公表)	前期実績 (平成28年12月期)
基 準 日	平成29年6月30日	同左	平成28年6月30日
1株当たり配当金	0円00銭	5円00銭	5円00銭
配当金の総額	—	—	2,182百万円
効力発生日	—	—	平成28年9月26日
配当原資	—	—	利益剰余金

(注) 配当金の総額は、百万円未満を四捨五入して表示しています。

2. 配当予想の修正

	第2四半期末	期末	合計
前回配当予想 (平成29年2月10日発表)	5円00銭	5円00銭	10円00銭
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当期実績 (平成29年12月期)	0円00銭		
前期実績 (平成28年12月期)	5円00銭	0円00銭	5円00銭

3. 配当方針の変更

(変更前)

当社は、株主への利益の還元が重要な経営課題であると認識し、株主資本の状況、経営実績、収益見通し等を慎重に検討した上で、業績の進展状況に応じて、利益配当・株式分割等を通じて株主に対し利益還元を行う方針であります。内部留保資金の用途につきましては、経営基盤の強化と今後の事業領域の充実を目的とした既存事業の拡充や新規事業の展開、M&A又はゲーム配信権の取得等、将来の成長に向けた積極的な事業展開を図るための有効投資と株主への利益の還元とのバランスを考慮し実行してまいりたいと考えております。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

(変更後)

当社は、経営基盤の強化と今後の事業領域の充実を目的とした既存事業の拡充や新規事業の展

開、M&A又はゲーム配信権の取得等、将来の成長に向けた積極的な事業展開を図るための有効投資に資金を振り向けてまいりたいと考えております。

このため、当面の間、剰余金の配当を行わないことといたします。

4. 理由

当社は、株主資本の状況、財務状況、会社業績、今後の業績見通し等を慎重に検討し、総合的に勘案した上で、各種方策により株主還元を行う方針でありました。

平成28年12月期の期末配当につきましては、当社の配当原資となる当社個別財務諸表上の利益剰余金がマイナス残高となったことから、期末配当の実施を見送ることといたしました。当社における配当の実施は、当社個別財務諸表上の利益剰余金から支払うことで実施してまいりました。当社における売上収益は当社グループ全体における10%未満である一方、当社における費用には、日本におけるゲーム事業に係るもののみならず、当社グループ各社による投資やそれに関連する損失等の計上、並びに、ストックオプションに関連する費用等、当社グループ全体に関する費用も含まれております。

その結果、現時点の当社の業績につきましても、当社個別財務諸表上の利益剰余金が、配当を継続するに十分な水準となっていないことから、慎重に検討いたしました結果、中間配当についてはこれを見送るとともに、期末の配当につきましても見送ることとしました。

また、当社は、株主への利益の還元が重要な経営課題であると認識しておりますが、それ以上に当社は、経営基盤の強化と今後の事業領域の充実を目的とした既存事業の拡充や新規事業の展開、M&A又はゲーム配信権の取得等、将来の成長に向けた積極的な事業展開を図るために有効な投資を考慮し実行したいと考えております。そのため、当面の間、配当を取りやめ、グローバル事業における成長投資を続けるための柔軟性を保持することを決定しました。

当社において利益剰余金が十分に確保できる状況となりましたら、配当の再開を検討してまいります。

以 上